

# 京都の農産物の付加価値を高めるお菓子作り 〜京都の農家と全国の消費者を結ぶ絆売活動〜

平成23年度 採択事業

株式会社 たにぐち

代表取締役

谷口 容造さん



谷口 容造さん

## 始まりは水尾の柚子だった

「8年ほど前、限界集落の進む水尾の地区で、地域資源を活用した地域活性化事業として取り組んだのが始まりでした」。社長の谷口さんは、この事業を始めたきっかけを、このように切り出してくださいました。

京の奥座敷「水尾」は、千年も昔から栽培しているため日本最古のゆずの里と言われ、水尾女が宮中へ献上した歴史もあるそうです。また、愛宕山から吹き付ける清風と水尾川の清流で育った柚子は味と香りが高いのが特徴で、当時の区長も積極的に水尾の地域活性化に力を入れていたとのこと。そこで、ご自身が代表になりゆず姫有限責任事業組合を立ち上げられ、イメージキャラクター「水尾のゆず姫」をパッケージで統一し、柚子ピール、柚子カステラ、柚子寒天ゼリー、ゆず琥珀など、柚子を使った商品を10種類以上も開発したそうです。現在、ゆず琥珀は有名紅茶メーカーの目にも止まり、大口発注を頂くまでに進展しました。

この経験から、京都府内の農産物を素材とした商品の開発、生産、販売のノウハウが身に付き、農工商連携で、生産者、製造者、販売者、消費者みんなが幸せになれる「絆売活動」に取り組み続けていらっしゃいます。



イメージキャラクター「水尾のゆず姫」をパッケージに取り入れた柚子せんべい

## 絶えず試行錯誤

「京野菜を使って商品を作れないか?」。水尾の柚子を手がけた流れから、京野菜を素材に、との発想も自然なものでした。例えば、柔らかくて葉先から根元まで食べられる京野菜の九条ねぎ。これまでお菓子には全く使われず、たとえお菓子にしてもクセが残って食べられなかったこの九条ねぎを題材に、どうしたらお菓子として

## 農林水産物の活用

食べられるか、試行錯誤を重ねたといいます。「クセのある九条ねぎを美味しいお菓子に!」の思いを胸に、職員のアイデアをひとつひとつ試しては試食を繰り返し、改良に改良を重ねて、とうとう商品化に成功。九条ねぎの粉末と白みそを混ぜこみ、独自の製法で九条ねぎの風味が豊かな有平飴に仕上がりました。パッケージも便利な個包装で、持ち歩きしやすいポケットサイズ。京野菜飴シリーズで統一化されたデザインです。商品化された「九条ねぎ飴」は、平成24(2012)年秋に開催された「京都九条ねぎフェスティバル」にも出展し、様々な料理レシピや商品が並ぶ中、お菓子として異色を放ちながらも存在感をアピールしました。

京都府内の農産物を使ったお菓子は、九条ねぎの他にも、万願寺とうがらし、壬生菜(みぶな)、堀川ごぼうなどにもチャレンジしています。もちろん、なかなか商品化できない難しい素材もあるそうですが、農家さんと直接やり取りをしながら商品開発を進める過程は、まさに「京都の農家と全国の消費者を結ぶ絆売活動」そのものです。「失敗による知恵の蓄積こそが宝」。谷口さんは、失敗を恐れず、自信を持ってチャレンジする企業風土が、新商品の開発には不可欠と考えています。



本社併設の売店舗「京都のお菓子の部屋」に並ぶ「九条ねぎ飴」

## 100年企業として

創業から100年を超える企業として、いかに持続可能な経営をするかを考え続けているという谷口さん。先代からご自身へ、またご自身から次世代へつなげていくため、「先代の思いをぐっと深掘りした」と話します。そこで気付いた「誰のために経営するのか」の問いと「社会に必要とされている企業であること」の必要性。社会とは、顧客、社員のみならず、地域や郷土愛、世界にも広がりを見せます。京都の農産物に着目したのも、根底にはこの思いが企業理念となって息づいているからなのです。お菓子については、「成果としての商品、結果としての利益」であると話す谷口さん。あくまでそこに至

る背景やストーリーに軸足があります。

31歳の若さで3代目を継ぎ、焦る気持ちから目標を見失い、気付くと社員がたった1人になっていたご経験も。「社員の幸せのためにある会社でありたい」。数々の辛い経験を重ね、先代の深い思いを胸に、覚悟を持った経営者の言葉です。

## 会社の価値を共有することが社員の成長に

会社の価値を定性的価値で表現したビジネスモデルは、平成22(2010)年に京都府中小企業「知恵の経営」に認証されました。総勢48名の社員全員に配布して共有しています。また、毎月の営業会議や全体会議など、社員が顔を合わせる機会を積極的に設け、一人ひとりの実績や成果への評価と反省、課題や問題の共有と改善を行っているそうです。失敗を恥じない、失敗を共有し繰り返さない、そんな温かい雰囲気があるからこそ、新しいことにチャレンジし続け、社員自らがモチベーションを高め成長していく企業風土が生まれていくのです。



大正末期に建てられた社屋の骨組みそのままに改修した本社 掲げられる看板

## 事業概要

株式会社たにぐち

<http://www.taniguchi-inc.co.jp/>

代表：谷口 容造

業種：菓子卸売業・製造・小売・ネット販売

創業：明治41(1908)年 設立：昭和39(1964)年

住所：〒602-8144 京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町525

TEL：075-841-5530 FAX：075-802-1074